

意見等の内容とそれに対する宇治市の考え方

① 宇治市産業戦略 第2改訂版全般について

No.	意見の内容	宇治市の回答・考え方	修正
1	P. 8 図表9の下の説明文の第4段落 「高齢者層の非労働力人口が目立つ傾向」と記載されているが、例えば、全国値と比べて宇治市の非労働力人口が低いのか。高齢者層が働いていないのは自然なことではないのかと思われる。	令和2年（2020年）国勢調査によると65歳以上の非労働力人口の割合は全国値（72.50%）に対し宇治市（76.46%）であり、わずかながら高い状況です。	
2	P. 26～33 4. 宇治市産業戦略に位置付けた取組の成果と課題 4年間の取組の成果として、6つの取組指標の実績値が記載されているが、立派な成果を挙げている事例に関して、例えば、トピック欄を設けて、もう少し具体的に示すことは可能か。	本章では、宇治市産業戦略に位置付けた取組について、全体像を把握しやすくすることを目的に、各柱ごとに成果、課題、指標の実績値を記載しています。 成果の箇所です実際の取組事例を記載しております。	
3	P. 34～37 第3章 産業戦略の目標と方向性 宇治市産業戦略の目標及び取組の方向性など産業戦略の全体を説明している章なので、第2章と入れ替えることを検討する。	産業戦略では第2章に記載の宇治市産業の現状と課題を踏まえたうえで産業戦略の目標と方向性、具体的な取組内容の設定を行っていることから、原文の構成を維持いたします。 なお、いただいたご意見については新たに産業戦略を策定する際に参考とさせていただきます。	

② 宇治市産業の現状と課題について

No.	意見の内容	宇治市の回答・考え方	修正
4	宇治市内の渋滞について 観光・産業の誘致の必要性が高く、宇治市中心道路の渋滞解消に向けインフラ整備（道路整備）の重要性が非常に高い。	いただいたご意見は関係部署とも共有し、今後の行政運営の参考とさせていただきます。	
5	P. 25 （10）観光客による経済効果の拡大 観光需要による経済効果を高めることは重要であるが、「オーバーツーリズム対策にも配慮して」を追記する。	ゴミの問題やマナーの問題などの観光課題に対して検討を進め、観光客だけでなく住民も含めた、誰もが快適に過ごせる上質な観光地づくりを目指すため、市民生活と調和のとれた観光地づくりが重要であると認識しており、「市民生活と調和を図りながら」の文言を追記いたします。	有

③ 具体的な取組内容について

No.	意見の内容	宇治市の回答・考え方	修正
6	<p>P. 54 3. 新たな経済への脅威に対応した取組 (1)と(2)に記載されている具体的な取組(箇条書き)も同様の内容が含まれていることもあり、例えば、(1)事業継続と倒産・廃業防止、(2)事業承継に組み替えることを検討する。</p>	<p>ご意見のとおり、(1)と(2)において一部共通する取組が記載されていますが、これは「新たな経済への脅威」に対して、発生直後から一定期間継続する中で、段階に応じて必要となる支援が連続的に存在するためです。 このため、資金繰り支援や事業継続に関する取組など、両期間に共通する施策が含まれていますが、それぞれの期間において支援の目的や役割が異なるものとして位置付けています。</p> <p>また、本計画における新たな経済への脅威に対応した取組においては、事業承継は想定していないことから、期間区分の再編成は行わず、原文の構成を維持いたします。</p> <p>以上から、原文通りの記載といたします。</p> <p>なお、事業承継への支援については恒常的に必要な支援と考えており、取組の方向性「市内産業の進化・発展」の「(2)市内産業の成長支援」において円滑な事業承継の支援を位置付けております。</p>	
7	<p>宇治市は「お茶の町」として知られているが、あわせて「水車の町」としてもアピールすべきである。市内には鎌倉時代から筒車(水車)が作られていた歴史があるほか、人口17万人の規模で3つもの水力発電所(宇治・天ヶ瀬・喜撰山)を有しており、特に創業113年の歴史を誇るレンガ造りの宇治発電所などは観光客を魅了する資源になり得る。世界文化遺産だけでなく、天ヶ瀬ダムまでの宇治川ラインの四季、朝霧橋周辺の景観、大吉山や朝日山観音からの展望といった豊かな資源を活かし、駅に「水車の町宇治」の垂れ幕が掲げられることを目標に、新たな観光資源として活用を検討してほしい。</p>	<p>いただいたご意見は関係部署と共有し、今後の行政運営の参考とさせていただきます。</p>	

④ 図・グラフ等について

No.	意見の内容	宇治市の回答・考え方	修正
8	<p>P.6 ②経済・産業の動向 第2段落で、「平成7年（1995年）からの約30年間では、農林水産業等の第1次産業及び製造業等の第2次産業の割合が低下し、」と記載されているが、図表6を見ると、第2次産業の割合は令和2年以降若干とはいえ増加しているようであるため、一部修文する。</p>	<p>本項では約30年間の全体的な推移の傾向に主眼を置いて説明しております。記述の趣旨を鑑み、長期的な視点に基づく原文通りの記載といたします。</p>	
9	<p>P.8 図表9 棒グラフ内の数字の定義を追記する。</p>	<p>縦軸の単位表記として（千人）を記載しておりますことから、原文通りの記載といたします。</p>	
10	<p>P.8 図表9の下の説明文の第2段落 「30～39歳女性では非労働力人口が高めですが・・・大幅に改善しています。」と記載されているが、「非労働力の値が大幅に低減しています。」に修文してはどうか。</p>	<p>文脈全体の趣旨を考慮し、原文通りの記載といたします。</p>	
11	<p>P.20 図表22 平成18～21年と平成21年～24年の京都府の折線グラフは、宇治市の折線グラフと重なっているのか、記載漏れなのか、判然としないため工夫をしてほしい。また（図表22）の上の本文も必要ならば修文する。</p>	<p>ご指摘のとおり一部グラフ同士が重なり、判別しづらい状況となっておりますので、グラフ種別等を変更いたします。</p>	有

⑤ その他

No.	意見の内容	宇治市の回答・考え方	修正
12	<p>第二子の保育料無償化制度について。現在、宇治市では第一子が小学生に進学した場合、下の子は第一子扱いとなり保育料が発生する。一方で、近隣自治体を含む多くの自治体では、第一子の年齢に関わらず第二子以降を無償化する取り組みが進められている。自治体による負担の差は、居住地選択や出産意欲にも影響を与えるため、中長期的な定住促進やイメージ向上の観点からも、世帯内での第二子以降を基準とした制度見直しを検討してほしい。</p>	<p>いただいたご意見は関係部署と共有し、今後の行政運営の参考とさせていただきます。</p>	
13	<p>人口減少を抑制するためには、他市町村に負けない子育て環境が必要である。明石市を筆頭に、大阪市、枚方市、亀岡市、井手町、京都市などでは第二子以降の保育料無償化が実施されている。京都府内で第二の人口を誇る宇治市が、近隣自治体に比して子育て支援で劣っているようでは魅力が損なわれる。京都府で一番子育てがしやすい市となるよう、宇治市独自の政策として第二子保育料無償化を進めてほしい。</p>		
14	<p>宇治橋のJR宇治駅方面の通行帯に車線変更禁止の表示必要。割り込みが多い。</p>	<p>いただいたご意見は関係部署と共有し、今後の行政運営の参考とさせていただきます。</p>	
15	<p>茶づなへの大型観光バス乗り入れの検討。</p>	<p>いただいたご意見は関係部署と共有し、今後の行政運営の参考とさせていただきます。</p>	